



男声合唱組曲「優しき歌」より

落葉林で

立原道造：作詩

多田武彦：作曲

あのやうに
あの雲が赤く
光のなかで
死に絶えて行つた

私は身を凭せてゐる
おまへはだまつて脊^せを向けてゐる
ごらんかへりおくれた
鳥が一羽低く飛んでゐる

私たちに一日が

はてしなく長かつたやうに

雲に鳥に

そしてあの夕ぐれの花たちに

私たちの短いいのちが
どれだけねたましくおもへるだらうか

落葉林で

立原道造 作詩
多田武彦 作曲

遅く、しみじみと

Ten. 1.2 *p* =66

あのように あのくも_が ひかりの なかでしにたえて

Bari/Bass *mp*

あのように あのくも_が ひかりの なかでしにたえて

あの ように あのくもがあかく ひかりのなかでしにたえてi
cresc.

mp

いった わたしはみをもたせている おまえはだまつて

た Hm Hm Hm

mf *mp*

oo

— ごらん かえりおくれたとりがいちわ

せをむけている

Hm

13

legato e espr.

ひくくとんでい る
わたしらにいちにちがは

17

mp
Hm

mf

くもにとりにそして
あ

てしなくながかつたよう
に

mf

mp

mf

22

f

ゆうぐれのはなたちに
わたしらのみ

f

26

じかいいのちが どれだけ ねたましく おもえる だらう

dim:

30

か_____ あのよう に あのくも_ が

p

mp あの よう に あの くも が あかく

34

cresc.

ひかりの なかで しにたえ_ てい つた_____
 poco rit.e dim

cresc. ひかりの なかで しにたえて い_ つた_____
 cresc.